

不登校やひきこもりの 初期介入支援と 自立支援サポート事業

「斜めからのまなざし」

～訪問看護で支える、10代の心と暮らし～

講師：峯上良平氏



家でも、畑でも、シェアハウスでも。
“生きづらさ”に寄り添う、あたらしい支援のかたち。



参加料
無料

2025年

6/7 土

【時間】13:00～16:30

【会場】県電ホール 県企業局1階
(宮崎市旭1丁目2-2)

【定員】120名

【主催】特定非営利活動法人 宮崎もやいの会

【後援】宮崎県・宮崎県教育委員会



お問い合わせ先

特定非営利活動法人 宮崎もやいの会
宮崎市丸島張4-3 第6シャトーモリオカ203号
TEL/FAX:0985-71-0036
(地域活動支援センターかふえらて内)

お申込方法

チラシ裏面の申込書に記載しFAXで送信、
もしくは申込フォーム、電話にてお申込みください。
詳しくは、裏面をご覧ください。



研修会スケジュール

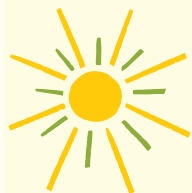


- 13:00～ 受付開始
- 13:30～ 開演(主催者挨拶)
- 13:40～ 峯上良平氏講演
- 15:10～ 休憩
- 15:20～ トークセッション
- 16:00～ 来場者との質疑応答
- 16:30～ 終了

全国的に不登校やひきこもりの状態にある子どもや若者が増加し長期化・深刻化するケースも多く、早期の段階での関わりと継続的な支援が求められています。

本企画では、WAM(独立行政法人)助成事業の一環として、「伴走型支援」を実践している訪問看護ステーションの代表者を講師としてお招きします。

研修会では、これまでの支援実践から得られた知見や支援の在り方、地域との連携の工夫などを共有していただく中で、より多くの「気づき」と「共感」が生まれることを期待し開催します。



「斜めからのまなざし」～訪問看護で支える、10代の心と暮らし～

和歌山県印南町にある「訪問看護ステーションHull(はる)」は、不登校やひきこもりの若者に寄り添う訪問型支援を展開しています。代表の峯上良平氏は、看護師による自宅訪問や、農業体験、シェアハウスでの共同生活といった多角的な取り組みを通じて、子どもたちが再び社会とつながるきっかけをつくっています。



「親でも先生でもない、ちょっと斜めの関係性」から、感情に流されず、それでも温かく向き合う支援。



それは、地域と人をつなぎ直す、新しい福祉のあり方です。



講師：峯上 良平(みねうえ・りょうへい)

和歌山高専電気情報工学科卒業後、大手IT企業に就職。社会人1年目で鬱を発症し、復職も失敗、精神病院に入院し退職。実家でひきこもりになるが、実家の農業を手伝うことで生活リズムを整えることができた。その経験を元に生きづらい若者と活動開始し、社会復帰率90%を達成。農業を活用したメンタルの回復支援を県から委託。4軒シェアハウス、1軒居場所、訪問看護ステーションHull(はる)を運営。

チラシ右下のQRコードから**申込フォーム**もしくは、**お電話(090-9212-3475)**にてお申し込みください。

FAXでお申し込みの方は、下記申込用紙に必要事項をご記入の上、送信してください。

※お伝えいただいた情報は、宮崎もやいの会からのイベントに関するご案内以外には使用いたしません。

申込用紙(※2025年6月5日 締切)

お名前		所属団体	
住 所	〒	参加人数	名

【お申込み先】
特定非営利活動法人 宮崎もやいの会

TEL:090-9212-3475
FAX:0985-71-0036

申込フォームは
こちらから→

